

I 法人の概要

1 設立年月日

昭和 55 年 11 月 1 日

2 定款に定める目的（定款第 3 条）

この法人は、水産動物等の種苗生産、育成及び放流に関する事業を行い、もって栽培漁業の推進と水産資源の維持増大を図り、広島県漁業の振興に資することを目的とする。

3 定款に定める事業（定款第 4 条）

この法人は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- ・水産動物等の種苗生産、育成及び放流
- ・栽培漁業及び水産資源の維持増大に関する技術の開発並びに知識の普及啓発
- ・その他前条の目的を達成するために必要な事業

4 所管官庁に関する事項

広島県

5 会員の状況

種 類	当期末会員数	前期末比増減	摘 要
正 会 員	107会員	0会員	県・市町24, 連合会・漁業団体83
賛助会員	4会員	0会員	漁業団体
合 計	111会員	0会員	

6 主たる事務所

広島県竹原市高崎町字西大乘新開 185 番地の 12

7 役員に関する事項

- (1) 任期 令和3年6月11日～令和5年度通常総会開催日
 (2) 役員内訳 理事定数 16人 在職 14人 (理事長以外は非常勤)
 監事定数 3人 在職 3人 (非常勤)

(当期末現在)

役職	氏名	現職	摘要
理事長	宮林 豊	一般社団法人広島県栽培漁業協会理事長	
副理事長	今榮 敏彦	竹原市長	
副理事長	山本 勇二	広島県漁業協同組合連合会代表理事会長	
理事	森川 家忠	広島県議会議員	
〃	明岳 周作	江田島市長	
〃	高田 幸典	大崎上島町長	
〃	大濱 清	広島県農林水産局長	R4. 6. 10 就任
〃	藤原 宣之	広島市経済観光局農林水産部長	R4. 6. 10 就任
〃	高橋 信治	呉市産業部参事	R5. 3. 31 辞任
〃	佐藤 展好	福山市経済環境局経済部長	
〃	辻駒 健二	広島県内水面漁業協同組合連合会代表理事会長	
〃	樋口 元武	深江漁業協同組合代表理事組合長	
〃	吉川 宏夫	下蒲刈町漁業協同組合代表理事組合長	
〃	山本 正直	吉和漁業協同組合代表理事組合長	
〃	渡邊 冬彦	横島漁業協同組合代表理事組合長	R4. 8. 31 死亡
〃	福本 悟	公益財団法人広島県漁業振興基金理事長	
監事	箕野 博司	北広島町長	
〃	米田 輝隆	広島県信用漁業協同組合連合会代表理事会長	
〃	内海 直子	尾道市産業部長	R4. 6. 10 就任

8 職員に関する事項

(1) 異動状況

- 採用 令和4年4月1日 パートタイム職員1名
 令和4年4月4日 パートタイム職員2名
 退職 令和4年4月15日 パートタイム職員1名
 令和5年2月28日 パートタイム職員1名
 令和5年3月31日 業務推進部長 (県の派遣職員) 1名

(2) 職員数

(単位:人)

職員数	当 期 末						計
	県派遣職員	プロパ-職員	嘱託員	パートタイム職員	エリター-職員	後期嘱託員	
管理部	0	1	1	0	1	0	3
業務部	0	8	3	8	0	3	22
合 計	0	9	4	8	1	3	25

II 事業の概要

1 事業の実施概要

一般社団法人広島県栽培漁業協会の定款に定める目的を達成するため、各事業を実施した。

広島県から指定を受けている広島県栽培漁業センターの指定管理者（指定期間：令和3年度から令和7年度まで）として、通常の魚介類の種苗生産事業に加えて、公益財団法人広島県漁業振興基金から重点魚種種苗増産委託事業によるガザミ、カサゴ、オニオコゼ及びキジハタを、広島県からの栽培漁業集中放流事業によるガザミ及びキジハタの種苗増産事業を実施した。

昨年度に引き続き公益社団法人豊かな海づくり推進協会が実施する資源造成推進事業として1齢（C1）サイズのガザミを生産し、放流及び効果調査を実施するとともに、今年度から一般社団法人日本釣用品工業会が海の資源回復を目指す LOVE BLUE 事業によるメバルの種苗生産及び放流を実施した。

受託生産事業では、キジハタ採卵技術開発等試験事業を関係団体からの委託と公益財団法人広島県漁業振興基金の助成を受けて実施した。

また、広島県と広島市との連携による種苗生産の役割の検討や、香川県との契約に基づく種苗の等価交換を実施した。種苗生産技術開発事業では、各魚種の安定的な種苗生産を図りつつ、より効率的な種苗生産を行うための技術開発等を行うとともに、他機関との技術交流や情報交換等を実施した。

放流・栽培漁業啓発事業では、中間育成や放流に関する指導啓発、施設見学の受け入れなどを行い、効率的で持続性のある栽培漁業の推進に努めた。

2 魚介類種苗生産事業及び受託生産事業

(1) 海産魚介類については公益財団法人広島県漁業振興基金と、アユは広島県内水面漁業協同組合連合会とそれぞれ水産種苗配布契約を締結し、種苗生産と配布を行った。

栽培漁業集中放流事業においては、公益財団法人広島県漁業振興基金から委託を受けて種苗の増産・配布を行った。

公益社団法人全国豊かな海づくり推進協会が実施するガザミ資源造成事業として、1齢（C1）サイズのガザミを生産し、松永湾への放流、効果調査等を実施した。なお、45万尾を当事業関連として公益社団法人えひめ海づくり基金へ配布した。

一般社団法人日本釣用品工業会の LOVE BLUE 事業によるメバルの種苗生産及び放流を実施した。

魚種	生産計画		生産実績					
	大きさ	数量(千尾)	生産期間	大きさ	数量(千尾)	出荷時期	配布先	
マダイ	12mm	1,280	R4.5.4~6.21	12mm	1,380	R4.6.16~6.30	広島県漁業振興基金他	
メバル	25mm	294.6	R5.1.5~4.13	25mm	253.7	R5.3.27~4.13	豊竹東水産振興協議会他	
		40.0			103.0			広島県漁業振興基金他
	計	334.6			356.7			
	35mm	100.0			100.0	R5.4.13~4.18	(一社)日本釣用品工業会	
オニオコゼ	30mm	200.7	R4.5.29~10.13	30mm	252.8	R4.8.22~10.13	広島県漁業振興基金他	
		36.4			28.8			広島県漁業振興基金(集中放流用種苗)
	合計	237.1		合計	281.6			
ガザミ	10mm	588.3	R.5.15~7.4	10mm	695.5	R4.6.1~7.6	広島県漁業振興基金他	
	(3齢)	500.0		(3齢)	500.0			広島県漁業振興基金(集中放流用種苗)
	計	1088.3		計	1,195.5			
	5mm	1,350.0		5mm	900.0			全国豊かな海づくり協会(資源造成推進)
	(1齢)			(1齢)	450.0			えひめ海づくり基金()
計	1,350.0	計	1,350.0					
ヨシエビ	12mm	810.0	R4.6.27~9.1	12mm	810.0	R4.8.19~9.1	広島県漁業振興基金	
	25mm	-		25mm	18.8			
アユ	0.5g	1,400	R4.10.1~R5.2.7	0.5g	1,360	R5.1.6~2.7	広島県内水面漁業協同組合連合会	
カサゴ	25mm	101.0	R4.1.4~4.13	25mm	153.0	R5.3.22~4.6	広島県漁業振興基金他	
		75.0			74.9			広島県漁業振興基金(集中放流用種苗)
	合計	176.0		合計	227.9			
キジハタ	50mm	26.0	R4.7.30~10.17	50mm	26.0	R4.10.4~10.17	広島県漁業振興基金(集中放流用種苗)	

(注1) 魚種別の出荷状況は別表のとおり。(注2) 生産実績数量は余剰分を含む。

(2) キジハタ採卵技術開発等試験事業については、関係団体からの委託と公益財団法人広島県漁業振興基金の助成を受け、技術の開発・確立のための試験生産を実施した。

生産計画		生産実績				
大きさ	数量(千尾)	生産期間	大きさ	数量(千尾)	出荷時期	配布先
50mm	64.3	R4.7.30~10.17	50mm	64.3	R4.9.28~10.17	魚種別出荷内訳表のとおり

3 三倍体マガキ種苗生産事業

三倍体マガキについては、広島県漁業協同組合連合会と種苗配布契約を締結し、県内のカキ養殖業者からの種苗配布要望により、コレクターについては1,422千枚、一粒カキは10mm サイズを247.8千個、1.5mm サイズを1,580千個生産し、同連合会を通じて養殖業者に配布した。

生産計画		生産実績				
大きさ	数量	生産期間	大きさ	数量	出荷時期	配布先
コレクター 殻高3mm, 16個以上	1,500千枚	R4.2.18~ 12.14	コレクター 殻高3mm, 16個以上	1,422千枚	R4.4.1~ 12.14	広島県漁業協 同組合連合会
一粒 10mm	270千個	R3.11.12~ R4.11.7	一粒 10mm	247.8千個	R4.4.1~ 10.31	
一粒 1.5mm	-		一粒 1.5mm	1,580千個	R4.6.28~ 11.7	

4 種苗生産技術開発及び放流・栽培漁業啓発事業

有用魚介類の稚魚を安定的かつ効率的に生産するため、種苗生産技術の改良や新技術の導入、コストの削減などに取り組むとともに、他機関との技術交流及び情報交換等を実施した。また、栽培漁業の発展と定着を図るため、放流協力等による普及啓発を行った。

(1) 三倍体マガキ種苗の安定生産に向けた技術開発

コレクター種苗については、これまで採苗時の付着確認を幼生の遊泳状況等を目視で判定し、水槽に入れるコレクター数を決定していたため、ロット毎にコレクター1枚当たりの付着数にばらつきが生じ、均一な種苗を提供することが出来ていなかった。そこで、常にコレクター1枚当たり、60~70個の種苗を目指し、予備採苗による付着安定効果を検討した。

採苗前に予備採苗を行い、付着期幼生の付着移行率（平均付着数×予備採苗枚数/収容幼生数）を推定し、60~70個の付着に適切なコレクター数を算出し採苗することにより、コレクター1枚当たりの平均付着数が、前年の62±18.4個から、70±13.4個となり付着数を増やすこととロット毎のばらつきを少なくすることが出来た。

(2) 三倍体マガキ種苗の養殖管理方法等に関する情報提供

県漁連及び県水産課と連携し、江田島市内の9漁協に対して、三倍体マガキの特性、種苗の生産状況等の説明を行った。その結果、複数の生産者から種苗購入の検討や試験養殖を希望する旨連絡があり、試験養殖用種苗を提供した。

(3) キジハタ採卵及び種苗生産量産化に向けた技術開発

本年度は、天然親魚に加え、養成親魚も用いて採卵を行い、2回の人工授精で昨

年度の1.5倍に当たる270万粒の受精卵を確保することが出来た。また、10日齢までの飼育において、SS型ワムシの安定供給、底注水方法の見直し、水槽間の遮光幕の設置等により、平均生残率を41.6%（R3平均15.1%）にまで向上させることが出来た。

(4) オニオコゼ種苗の安定生産に向けた技術開発

飼育水中の残餌を減らすため、ワムシ、アルテミアの給餌量を見直すとともに、冷凍コペポダを早期より給餌することで着底期の生残率向上を図った。

その結果、6月中旬から7月下旬にかけて、49.8万尾の着底魚を取り上げることが出来た。

(5) アユ新規系統（宮崎宮崎系及び新湖産交配系）の放流効果及び海面育成の検証

放流効果については、広島県水産海洋技術センターに委託し5月～8月に友釣り、投網等による再捕調査を実施したが、各系統による再捕状況に大きな差異はみられなかった。

また海水飼育においては、注水時に十分な曝気を行うことにより、ガス病の発生は見られず、順調に飼育を行うことが出来た。

(6) マナマコ種苗の生産に関する技術開発試験

県内種苗生産業者から提供された受精卵を用いで試験的に生産を実施した。

その結果、ふ化幼生100万尾から約53千尾（10mm以上約23千尾、10mm以下約30千尾）の稚ナマコを生産することが出来たが、量産化に向けては、飼育水槽内での小型甲殻類の発生及び食害防止等、課題が残った。

(7) 見学者に対する栽培漁業学習及び放流行事用の稚魚の提供や、学生の職場体験学習の受け入れ及びホームページでの情報提供

学生、会員及び一般の施設見学者に対して、栽培漁業センターを案内して、種苗生産・放流・資源管理についての説明・学習を行い、栽培漁業の普及啓発に努めた。

呉市が主催する小学校での水産教室に放流用として、オニオコゼ稚魚を提供した。

当会のホームページについては、随時更新し、情報提供を行った。

見学者数	一般	学校関係	合計
	22人	142人	164人

5 センター管理事業

広島県との広島県栽培漁業センター施設の管理に関する基本協定(令和3年3月25日締結)及び令和4年度広島県栽培漁業センターの管理に関する年度別協定(令和4年3月30日締結)により、施設の維持修繕と機械設備の整備点検を行い、センター機能の維持管理に努めた。

6 理事会, 総会, 監査会及び登記に関する事項

(1) 理事会

項 目	議 案
第1回通常理事会 R4. 5. 17	<ul style="list-style-type: none"> ・決議事項 第1号議案 令和4年度通常総会提出議案に関する件 第2号議案 令和4年度通常総会開催日程等に関する件
第1回臨時理事会 R4. 11. 25 書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・報告事項 第1号 令和4年度前期種苗生産状況について 第2号 令和4年度前期収支状況について ・決議事項 第1号議案 育児・介護休業規程の改正に関する件
第2回通常理事会 R5. 3. 24開催 水産会館	<ul style="list-style-type: none"> ・決議事項 第1号議案 特定資産の一部取崩に関する件 第2号議案 令和5年度事業計画書及び収支予算書及び特定資産の一部取崩の決定に関する件 第3号議案 令和5年度余剰種苗等頒布に関する件

(2) 総会

項 目	事 項
通常総会 R4. 6. 10 書面開催	<ol style="list-style-type: none"> 1 会員数 111会員 (正会員107会員 賛助会員4会員) 2 出席正会員数 107会員 (表決書107会員) 3 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> 第1号 令和4年度事業計画書・収支予算書の議決報告に関する件 4 決議事項 <ul style="list-style-type: none"> 第1号議案 令和3年度事業報告書・貸借対照表・正味財産増減計算書及び公益目的支出計画実施報告書の承認に関する件 第2号議案 令和4年度会費の額の決定とその徴収方法に関する件 第3号議案 令和4年度役員報酬に関する件 第4号議案 役員補欠選任に関する件 (理事2名, 監事1名)

(3) 監査会

開催年月日	出席監事	監査事項
R4. 4. 21	米田輝隆・田坂・昇	令和3年度事業報告書, 財務諸表, 公益目的実施計画実績報告書
R4. 4. 22	箕野博司	

(4) 登記に関する事項

登記年月日	登記事項	登記内容
R4. 6. 28	役員変更登記	役員補欠選任に伴う理事の変更登記
R4. 10. 7	役員変更登記	役員死亡に伴う理事の変更登記

7 事業報告書の附属明細書

令和4年度事業報告においては, 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条に定める「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものはない。